

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国連大学の施設整備		担当部局庁	大臣官房国際課		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度・未定		担当課室	国際課		国際課長 永山 賀久	
会計区分	一般会計		政策・施策名	いずれの施策にも該当しないもの			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際連合大学本部施設は、平成25年5月をもって建築後21年が経過し随所に改修を要する箇所がある。このため、国際連合大学の施設を改修し、同機関を通じた事業の円滑かつ的確な実施を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	外壁(石)のシーリング改修及び外壁(石)のひび割れ補修、屋上笠木の防水改修を7工区に分割し、7年間で順次改修工事を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	28	32	29	29	26
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	28	32	29	29	26	
	執行額	22	30	27			
執行率(%)	77.9%	93.6%	92.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	【定量的成果指標】設定は困難 国際連合大学の施設を改修することが成果目標であり、定量的な数値は示すことにはなじまない。		成果実績	7年計画に基づき改修工事を行った(東面外壁低層階)	7年計画に基づき改修工事を行った(北・西・中庭面外壁低層階)	7年計画に基づき改修工事を行った(東・西面外壁高層階)	7年計画に基づき改修工事を行う(南面外壁一部)
	【定性的成果指標】 外壁(石)のシーリング改修及び外壁(石)のひび割れ補修、屋上笠木の防水改修を7工区に分割し、7年間で順次改修工事を行う予定であり、計画通り実施されていること。		達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	外壁(石)のシーリング改修及び外壁(石)のひび割れ補修、屋上笠木の防水改修を7工区に分割し、7年間で順次改修工事を行う予定である。活動指標は、外壁・笠木全範囲に対する各年度修繕実施範囲の割合とする。		活動実績 (当初見込み)	8 (8)	18 (15)	31 (17)	- (20)
単位当たりコスト	4,749(円/㎡) (H24年度実績)		算出根拠	24年度の契約執行額(26,670千円)÷外壁修繕実施範囲(5,616㎡)			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	29百万円	26百万円				
	施設施工庁費	0.02百万円	0.02百万円				
	計	29百万円	26百万円				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・国際連合大学本部として広く一般に利用される施設の安全を確保するために必要な改修工事であり、優先度が高い事業となっている。 ・「国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定」に基づき、日本政府が国際連合大学本部施設の修繕について責任を有している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-	・一般競争入札を行うことにより、競争性を確保し、単位あたりコストの削減に努めている。 ・改修を実施するために必要最低限の費目・使途を精査し負担を行っている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	・一般競争入札による請負は、経費の効率的使用の観点からも実効性が高い。 ・7年間の計画的な整備を順次実施しており、整備状況も着実に進捗している。 ・施設は国際連合大学の本部として研究・教育活動に活用されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
重複排除	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	今後も関係機関との連絡調整を密に行うことにより整備計画に基づく着実な事業の進捗を図りつつ、工事発注に当たっては引き続き一般競争入札を行うことで競争性の確保に努めるなど、本事業予算を適切に執行するように努める。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、国際連合大学本部施設の老朽化に対応して改修工事を行うものであり、施設整備の計画性及び契約・執行手続の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は、必要な施設整備を計画的に(7年間で)順次実施しているものであり、事業規模の適正化やコスト削減に留意しつつ、効果的・効率的な整備の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	0004	平成24年	0003

文部科学省
27百万円

国連大学の施設整備

【一般競争入札・請負】

A.(株)匠工務店
27百万円

外壁及び笠木を修繕するための修繕費。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 株式会社 匠工務店			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	笠木防水改修、外壁シーリング打替え等	27			
計		27	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)匠工務店	笠木防水改修、外壁シーリング打替え等	27	3	77.3%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					